

## 「福島に学ぶプロジェクト」 活動報告

タイトル	福島に学ぶプロジェクト 活動報告		
学校名	相馬市立向陽中学校	教員名	佐藤拓也
学年	全学年	教科	学級活動、理科、社会、家庭科、保健体育
使用した教材、教科書等	各教科の教科書(理科、公民、保健体育)、放射線副読本、kahoot! 処理水ポータルサイト(TEPCO)、「トリチウム」について(TEPCO)		

### 1. 目的

福島第一原子力発電所事故から十数年が経過した現在も、県内には放射線に対する誤解や風評被害が残っている。令和5年の処理水海洋放出を契機に、科学的・社会的理解の不足が改めて課題として浮き彫りになった。本校では「福島を生きる」教育の一環として、放射線に関する正しい理解の形成、地域課題への理解と誇りの醸成、主体的に地域に関わろうとする態度の育成を目的に、中学校3年間を見通した放射線教育の実践に取り組んだ。

### 2. 活動内容

#### カリキュラムマネジメント

教育課程を編成する際に、放射線教育全体計画の作成と担当教科・担当校務分掌の教育計画を作成する際に放射線教育に関する項目を明示した。また、全職員が「らでい」の教員研修を受講し、放射線教育について学んだ。



#### 授業実践

授業実践においては、1年生で「興味を持つ」、2年生で「知る」、3年生で「考える」という段階的な学びを設定し、各学年の発達段階に応じて授業実践を行なった。

#### 全学年

- ・ 「らでい」の出前授業を受講した。

#### 1年生

- ・ 原子力災害伝承館を見学した。
- ・ 「火をふく大地」の学習で自然放射線について学んだ(理科)。

#### 2年生

- ・ 「調理自習」の際に、おさかなマイスターに相馬の海と放射能汚染について講話いただいた(家庭科)。
- ・ 「静電気と電流」の学習で放射線の性質について学んだ(理科)。

#### 3年生

- ・ 「資源・エネルギー問題」の学習で原子力発電について学んだ(社会・公民)。
- ・ 「健康と環境」の学習で放射線について学んだ(保健体育)。
- ・ 「科学技術と人間」の学習でトリチウムについて学んだ(理科)。

### 3. まとめ

今年度は、理科・社会・家庭科・保健体育の授業で放射線に関する授業を行った。今後は、生徒が放射線を「自分事」として捉えられるよう教科横断的な学びを工夫し、放射線教育をより多くの教科へ広げていく必要がある。これらの取組が、福島の未来を担う力の育成につながることを期待される。